

田中絹代命日市民墓参

か らん き

花嵐忌

山口県下関市出身の世界的映画俳優 田中 絹代の命日（3月21日）を「花嵐忌」と題し、市民墓参会を毎年実施しております。
どなた様でもご参加いただけますので、ぜひお越しくださいませ。

2026年 3月 21日 (土) 11:00～

場所：下関中央霊園 田中家墓前（普-15区）

山口県下関市大字井田 ※ 詳細は裏面参照



田中 絹代 (1909年～1977年)

Kinuyo Tanaka

山口県下関市丸山町生まれ。大正、昭和と、日本映画の黎明期からカラーテレビの時代まで国民的大スターとして活躍しました。映画「サンダカン八番娼館 望郷」でベルリン国際映画祭最優秀女優賞に輝くなど、その演技は世界的に高く評価されました。また日本で2番目の女性監督として6本の名作を残しています。2021年、監督作がカンヌ国際映画賞クラシック部門に選出されるなど、映画監督としても世界中で注目を集めています。



Instagram

お問い合わせ先：田中絹代メモリアル協会

メール：info@kinuyo.info 電話：090-7775-0747

花嵐忌について

田中絹代の命日(3月21日)を下関出身の直木賞作家 故・古川 薫氏が「花嵐忌」と名付け、毎年 市民墓参会を実施しています。絹代のヒット作 映画「愛染かつら」(1938年)の主題歌「旅の夜風」の歌詞「花も嵐も」に由来しています。古川氏は生前「花も嵐も女優・田中絹代の生涯」を執筆しています。

脳腫瘍が原因で絹代は67歳で他界しました。「お母さんと一緒に下関のお墓に入りたい」という絹代の意思を汲んで、遺骨は下関(下関中央霊園)と鎌倉の円覚寺に分骨されました。

下関の絹代のお墓の隣には、絹代のまたいところにあたる映画監督 小林正樹氏が眠る小林家のお墓が並んでいます。「花嵐忌」では小林正樹氏の墓参も実施します。

絹代のまたいところ 小林 正樹 (1916年～1996年)

映画監督として「東京裁判」「人間の条件」「怪談」「切腹」など数々の名作を手掛け、毎日映画コンクール、カンヌ国際映画祭、ヴェネツィア国際映画祭等、国内外の様々な賞に輝きました。黒澤明、木下恵介、市川崑の巨匠らと「四騎の会」を結成するなど、日本映画界を牽引された人物です。

小林氏の思いを受け継いで

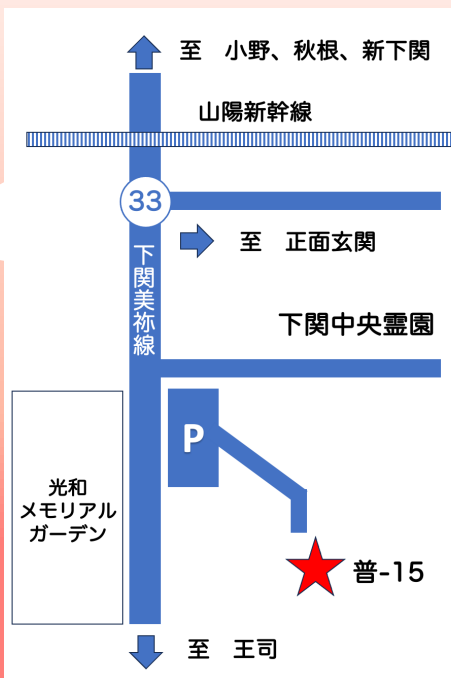
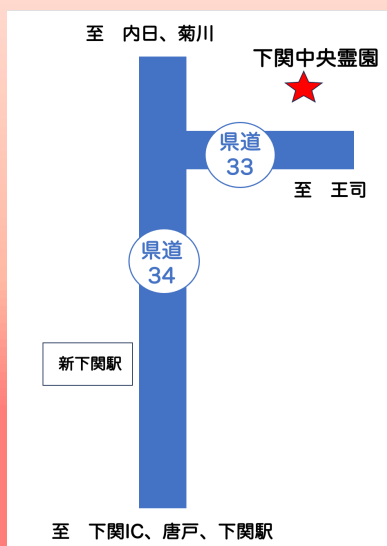
田中絹代の最期を看取った小林氏は、「田中絹代の記念館を下関市に設立して欲しい」と強く願っておられました。私たちはその思いを受け、2000年に市民活動団体「田中絹代メモリアル協会」を立ち上げ、田中絹代の顕彰活動を本格始動させました。国内外での展示会や上映会、「しものせき映画祭」を実施するなど絹代の功績を広めつつ気運を高め、2010年、「田中絹代記念館(田中絹代ぶんか館)」オープンに漕ぎつけることができました。小林氏の生前に記念館をお見せできなかったことは無念でなりません。

田中絹代メモリアル協会は、田中絹代の顕彰活動および地域と青少年の映像文化推進のため、今後も花嵐忌および映画フェスやアニメ制作体験教室などのイベントを実施してまいります。

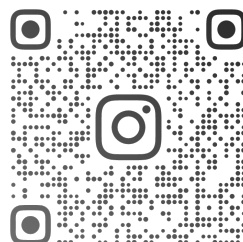


ACCESS

会場：下関中央霊園 普-15区
住所：山口県下関市大字井田
下関インターから車で約20分



駐車場からのアクセスは下記動画をご覧ください
(Instagram)



3月20, 2025にシェアされたり...
BY @KINUYOTANAKA_MEMORIAL